

# 認知症になっても暮らせる街づくり

日時：2月1日（土） 10：45～12：30

場所：八幡市民談話室 5F（参加費：300円）

講師：NPO法人「地域福祉応援団Pねっと」理事長 今川純子さん  
真間地区社会福祉協議会福祉委員 石崎多加代さん



市川市で認知症の方は約7200人とされています。団塊の世代が後期高齢者になる2025年には1万8000人になる予測です。国は認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）を進めています。今年度は調査、研究の段階です。来年度から市町村にも事業計画の作成などが課せられます。この計画の概要と問題点を、またPねっとが考える重層的ネットワーク（働く世代に知らせる事業）についてを今川さんに伺います。

住み続けた街で安心して暮らしていくための街づくりは重要な課題です。どんな街が安心して住みやすい街なのでしょう？そんな街づくりの取り組みを市川市で実践している石崎さんに報告してもらいます。お二人の対談もあります。

誰もがなるかもしれない認知症です。なっても安心して暮らせるように今できることは何かを考えたいと思います。



## 【今川純子さんのプロフィール】・・・ NPO法人 地域福祉応援団Pねっと 理事長

社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士。特別擁護老人ホーム・地域包括支援センター勤務

### <認知症に関する支援事業>

- ・認知症の人や家族の応援者となる“認知症サポーター”の養成「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター・ステップアップ講座」の開催および講師協力（地域住民/高齢者/学校/企業/商店等へ）
- ・若年性認知症の理解を広めるパンフレット作成
- ・認知症でも安心して暮らせる街づくりへの講演会/映画会/イベント開催
- ・企業や学校等への認知症アンケート調査等

## 【石崎多加代さんのプロフィール】

市川生まれ。大学で社会福祉を専攻、ブラジルサンパウロ日伯援護協会ボランティアケースワーカーを経験したのち、市川市市議会議員を4期務めた後、市川市社会福祉審議会委員3期。2007年～現在 真間地区社会福祉協議会福祉委員。その経験を実践すべく現在、真間地区で地域ケア真間相談員として街づくりに取り組んでいます。

\*参加を希望の方は下記にご連絡ください。定員35名（締め切り1月20日）

主催：市民ネットワーク・市川

（連絡先：植村 T/F 047（369）7410）